

陳情第 93 号 練馬区子どもの権利条例制定を求めることについて

要旨

「練馬区子どもの権利条例」を制定するよう、区に働きかけてください。

1 区における考え方

子どもの権利条約およびこども基本法の理念を踏まえ、子どもの人権を尊重し、子どもの健やかな成長を保障することを基本として、教育・子育て大綱や子ども・子育て支援事業計画を策定している。大綱や計画に基づく施策を着実に実施することで、子どもの権利擁護を図っている。

2 区における主な取組

子どもの意見反映

ア 子どもへの意見募集

こども基本法の趣旨を踏まえ、令和 5 年度から子ども施策に関連する計画素案に対し、子どもへの意見募集を実施している。

(ア) 令和 5 年度実績（8 計画）

意見総数 1,510 件（475 名）うち子どもからの意見 215 件（144 名）
計画に反映した子どもの意見 11 件

(イ) 令和 6 年度実績（11 計画）

意見総数 1,227 件（672 名）うち子どもからの意見 514 件（426 名）
計画に反映した子どもの意見 79 件

イ 練馬子ども議会

中学生が日頃疑問に思っていること、子ども議員として希望や意見などを表明する場を提供するとともに、区政に反映させる機会としている。

（子ども議員からの提案に対する区の取組事例）

- ・中学生が避難拠点運営訓練にボランティアとして参加し、当日の案内や誘導のほか、地域の方に備蓄や災害伝言ダイヤルの説明等を実施
- ・小中学校の通信環境を整備するため、校内ネットワークを Wi-Fi 化

ウ 児童館での子ども会議

児童館で実施している子ども会議では、日常的に子どもたちが主体となつて館運営について議論し、提案された意見を児童館事業に反映している。

エ 練馬こどもまつり

児童館の利用者から「子どもスタッフ」を募り、職員と一緒に行事の企画・運営に取り組むなど、子どもたちの主体的な活動につなげている。

オ 出前教育委員会

教育委員が区立学校に出向いて会議を開く出前教育委員会では、児童・生徒から直接、意見や要望を聴く意見交換会を併せて実施している。

カ 小中学校における人権教育

小学校では道徳科、中学校では家庭科や社会科の授業において、子どもたちに保障される権利やその必要性について学習している。

キ 小中一貫教育校の統一学園名への意見反映

旭丘、小竹地域の新たな小中一貫教育校の統一学園名について、児童・生徒による投票を実施し、みらい青空学園とした。

子どもの権利条約の周知啓発

ア 練馬区子ども・子育て支援事業計画に子どもの権利条約の4つの原則を掲載

イ 練馬区男女共同参画計画に子どもの権利条約の条文を掲載

ウ 母子健康手帳に子どもの権利条約の条文を掲載

エ 児童虐待防止推進月間における区役所内でのパネル展示

オ 人権週間行事における区役所内でのパネル展示

カ 教育だよりへの掲載

キ 児童館だよりへの掲載

1 「子どもの権利条約」の4つの原則

差別の禁止

人種や国籍、性、意見、障害、経済状況など、いかなる理由であっても差別されないこと。

生命、生存及び発達に対する権利

子どもの命が守られ、健やかに成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されること。

子どもの意見の尊重

自分に関係のある事柄に意見を言うことができ、大人はその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮すること。

子どもの最善の利益

子どもにとって最もよいことは何かを第一に考えられること。

2 「こども基本法」の基本理念（法第3条）

全てのこどもについて、個人として尊重されること・基本的人権が保障されること・差別的取扱いを受けることがないようにすること。

全てのこどもについて、適切に養育されること・生活を保障されること・愛され保護されること等の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。

全てのこどもについて、年齢及び発達の程度に応じ、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

全てのこどもについて、年齢及び発達の程度に応じ、意見の尊重、最善の利益が優先して考慮されること。

3 「東京都こども基本条例」の基本理念（条例第3条）

こどもは大いなる可能性を秘めたかけがえのない存在であるとの認識の下、こどもの権利条約の精神にのっとり、こどもを権利の主体として尊重し、こどもの最善の利益を最優先とすることで、全てのこどもが、今と将来への希望を持って伸び伸びと健やかに育っていけるよう、社会全体でこどもを育む環境を整備していかなければならない。